

2024年12月期第1四半期 決算業績報告

小林製薬株式会社

執行役員 CFOユニット ユニット長

中川 由美

2024年5月10日

紅麴関連製品に関して

この度は、当社紅麴関連製品に関してお客様やお取引先様をはじめ、当社に関係する様々な皆様に多大なるご迷惑、ご心配をお掛けしており、改めて深くお詫び申し上げます。

お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の皆様にご心からお悔やみ申し上げます。また、現在も入院中、治療中の方の一刻も早いご回復をお祈り申し上げます。

これまでの経緯

これまで下記の通り対応を行ってまいりました。引き続き、社長を本部長とする対策本部にて、全社的な体制で対応に当たってまいります。

1月中旬～2月上旬	紅麴コレステヘルプ [®] を摂取していた患者について、医師やご本人から当社に連絡
以降、原因について様々な仮説・検証を進めてきた	
3月中旬	一部の製品ロットおよび紅麴原料ロットにおいて、想定していない成分の存在を示す分析結果を検出
3月22日	臨時取締役会を開催、紅麴製品の使用中止のお願いと自主回収を公表、記者会見（1回目）を開催
3月27日	大阪市が当社に対し、商品の回収命令を発出
3月29日	記者会見（2回目）を開催
3月30、31日	食品衛生法に基づき、行政より当社工場へ立入検査
4月26日	臨時取締役会で、事実検証委員会の設置を決議

取締役会主導による調査・検証

本件における一連の当社の対応に関して、
コンプライアンス、コーポレートガバナンスについての
社内外からの指摘も踏まえ、厳正に対処してまいります

■ 方針

下記の事項につき、取締役会が主導的に調査し、事後的検証を実施

- ・最初に症例報告がなされて以降の一連の対応につき、健康被害の拡大防止の観点、また、お客様・お取引先様・株主様をはじめとするステークホルダーの皆様方のご信頼に応えるという観点で、適切な対応がなされたと言えるか
- ・これまでの食品衛生法違反による行政処分（回収命令）のほか、その他の法規制の遵守に問題はなかったか
- ・当時の意思決定やその基盤となるコーポレートガバナンスに問題はなかったか

■ 事後的検証における重要な検討課題

- ①症例報告後の事実経過の調査
- ②内部統制システム・品質管理体制の精査
- ③法規制への適合性確認
- ④公表時期の是非

<事実検証委員会の構成>

委員長	貝阿彌 誠	弁護士（元東京地方裁判所所長）
委員	北田 幹直	弁護士（元大阪高等検察庁検事長）
委員	西垣 建剛	弁護士

■ 調査・検証の体制

- ・①②については、証拠に基づく事実認定が必要となるものであり、できる限り早急に独立性・客観性・実効性のある調査・検証を行うべく、法曹三者出身の専門家からなる事実検証委員会を設置し、調査等を委嘱
- ・③④については、当面、当社が行政による調査に公正かつ全面的に協力するよう、取締役会としての監督義務を尽くすことに注力し、取締役会としても外部専門家の意見を得るなどしながら、法規制への適合性や公表時期の是非について独自に検討

国内事業

（カッコ内の数字は対前期）

トータルでは+12億（+4.9%）の増収。

- ・ 訪日客の増加に伴ってインバウンド需要が増加（+13億）
- ・ 「Sawaday+ & Emotion」「ヒプキュア」等の新製品が貢献（+8億）
- ・ 暖冬によるカイロの減収（▲4億）
- ・ その他既存品の売上減（▲2億）
- ・ 通販の減収（▲3億）



国際事業

（カッコ内の数字は対前期 ※為替影響含む）

トータルでは円安による為替換算影響もあり+17億（+21%）の増収。

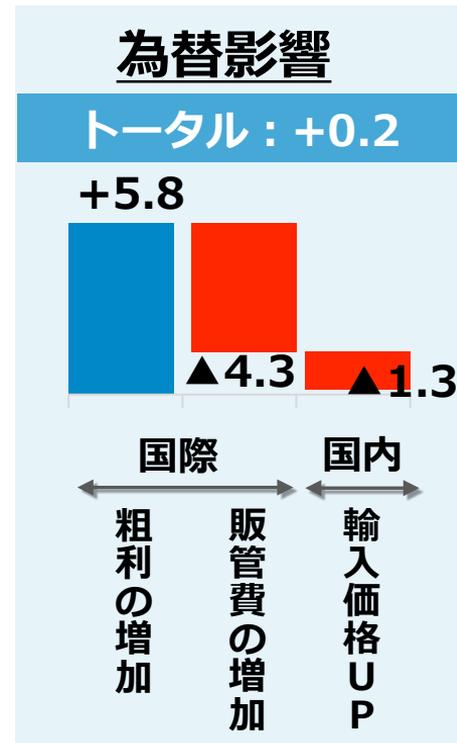
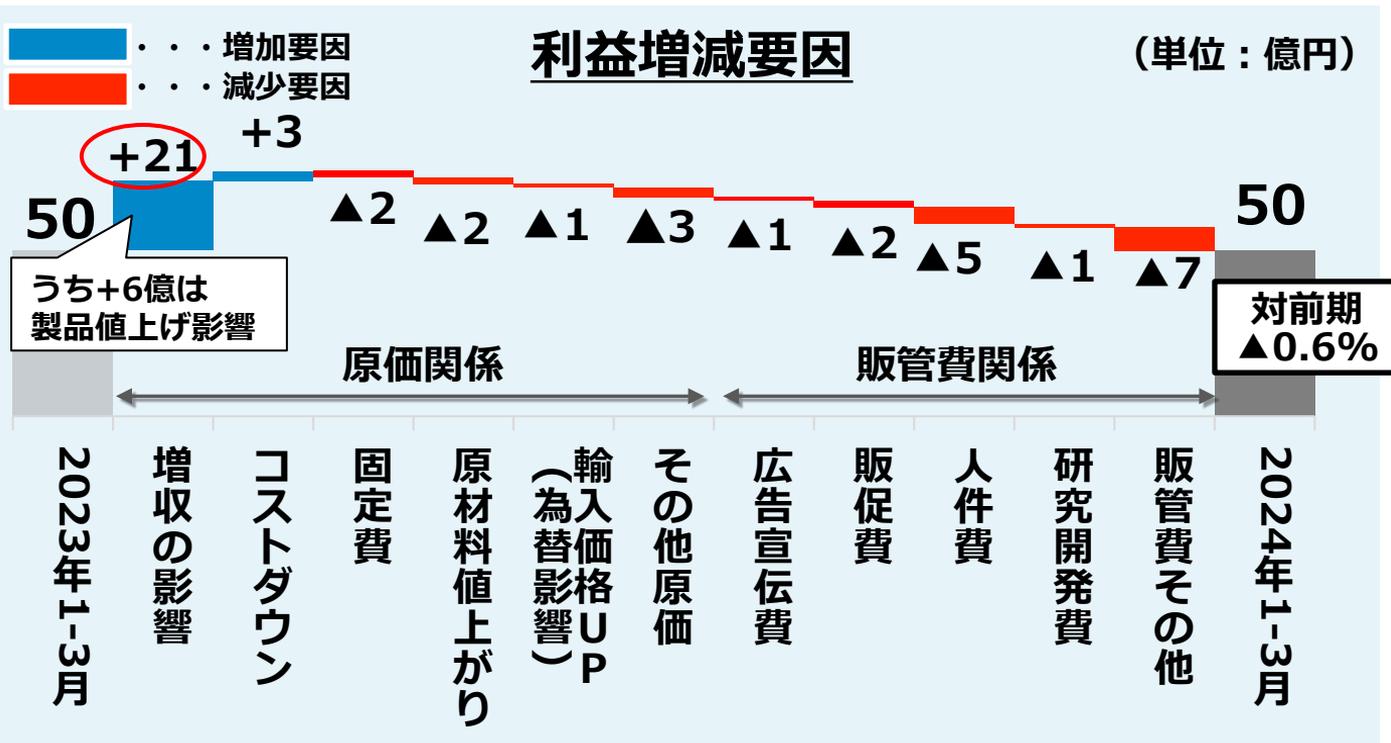
- ・ 米国 : Focus社のサプリ、医薬品が売上貢献（+11億）
- ・ 中国大陸 : 去年の熱さまシート特需の反動により微減収（▲0.2億）
- ・ 香港地域 : 中国大陸からのインバウンド需要が貢献し増収（+1億）
- ・ 東南アジア : 各国で熱さまシートやアンメルツが伸長し増収（+4億）

紅麴関連製品回収等に伴う特別損失38億円の計上により、増収減益。

単位：億円	2023年 1-3月	2024年 1-3月		
	金額	金額	対前期	利益率
売上高	334	364	+9.0%	-
営業利益	50	50	▲0.6%	13.8%
経常利益	51	54	+5.7%	15.0%
当期純利益	36	9	▲72.9%	2.7%
EBITDA ※	64	68	+5.9%	18.7%
国内売上高	249	261	+4.9%	-
国際売上高	83	101	+21.4%	-

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

原材料値上がりの影響や人件費の増加により微減益。
23年10月にM&AしたFocus社の償却費も影響。



ヘルスケアと日用品が増収。カイロと通販が減収。

(単位：億円)		2023年	2024年	
		1-3月	1-3月	
		金額	金額	対前期
売上高	ヘルスケア	140	155	+10.6%
	日用品	81	85	+5.4%
	カイロ	8	4	▲49.6%
	通販	19	16	▲16.0%
	合計	249	261	+4.9%
営業利益計		36	38	+6.8%
(率)		14.5%	14.7%	—

訪日客の増加に伴い、コロナ前よりも需要拡大。
 新製品でインバウンドの兆候が見られるものも。
 各言語に対応したPOPを設置。

インバウンド売上の推移

(単位：億円)



19年 1-3月 20年 1-3月 21年 1-3月 22年 1-3月 23年 1-3月 24年 1-3月

新たな兆候のある新製品



外国語POP展開



インバウンド売上ランキング

順位	2019年 1-3月	2024年 1-3月
1	命の母	ナイシトール
2	サカムケア	命の母
3	ブレスケア	のどぬ〜る
4	のどぬ〜る	メガネクリーナー
5	アンメルツ	サカムケア

米国・東南アジアは増収。中国大陸は昨年の熱さまシート特需の反動により微減収。Focus社の償却費が影響し、減益で着地。

(単位：億円)		2023年	2024年		
		1-3月	1-3月		
		金額	金額	対前期	対前期 (為替除く)
売上高	米 国	26	38	+44.6%	+28.8%
	中 国 大 陸	21	21	▲1.3%	▲7.0%
	香 港 地 域	6	7	+11.0%	▲1.4%
	東 南 ア ジ ア	22	27	+20.7%	+12.3%
	そ の 他	7	8	+13.7%	▲0.7%
	国 際 計	83	101	+21.4%	+10.5%
営 業 利 益 計		13	10	▲21.5%	▲32.3%
(率)		16.1%	-	10.4%	-

医薬品とその他は、23年10月にM&AしたFocus社の連結影響や、為替の影響もあり増収。

(単位：億円)

売上高 ※括弧内の%は為替除き

カイロ

15.8 13.1 13.5

対前期
+3%
(▲8%)

2022年 2023年 2024年
1-3月 1-3月 1-3月



医薬品

7.1 11.3 16.1

対前期
+42%
(+26%)

2022年 2023年 2024年
1-3月 1-3月 1-3月



その他

2.0 2.2 9.0

対前期
+304%
(+260%)

2022年 2023年 2024年
1-3月 1-3月 1-3月



カイロは昨年、無返品契約への切替に伴う出荷抑制があり、その反動で増収。熱さまシートは昨年の特需による反動で減収。

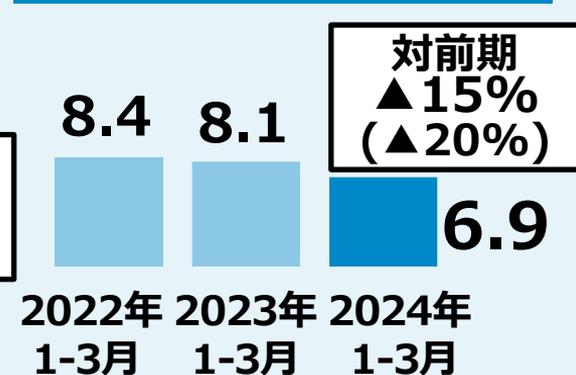
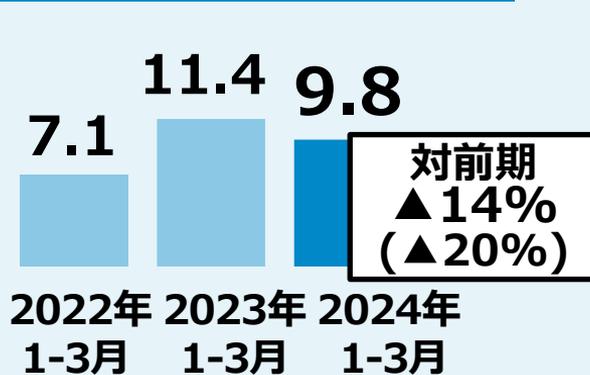
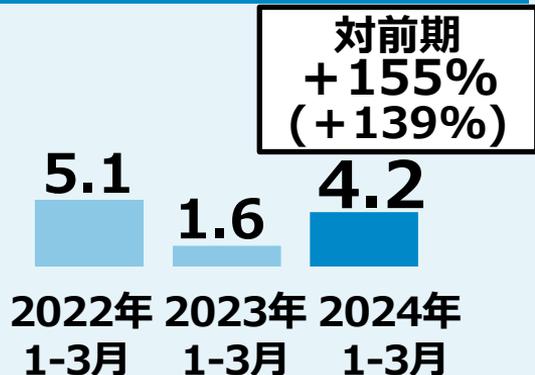
(単位：億円)

売上高 ※括弧内の%は為替除き

カイロ

熱さまシート

その他



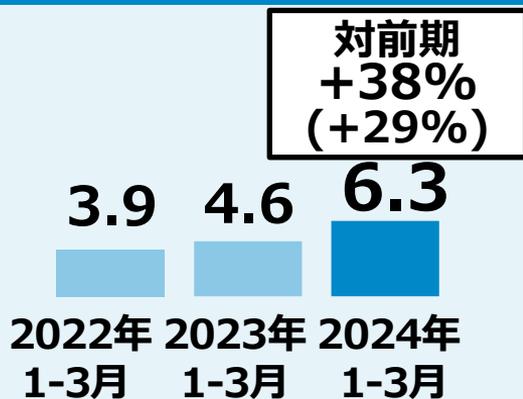
医薬品はアンメルツが伸長。

熱さまシートは各種感染症拡大により需要が伸び増収。

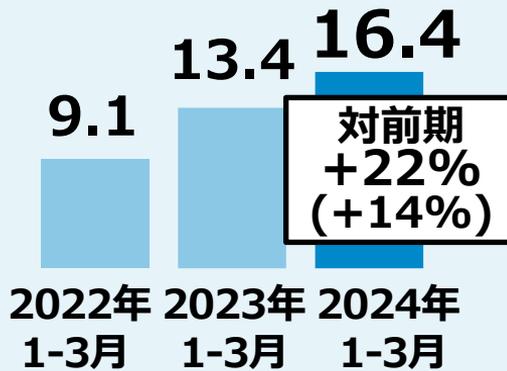
(単位：億円)

売上高 ※括弧内の%は為替除き

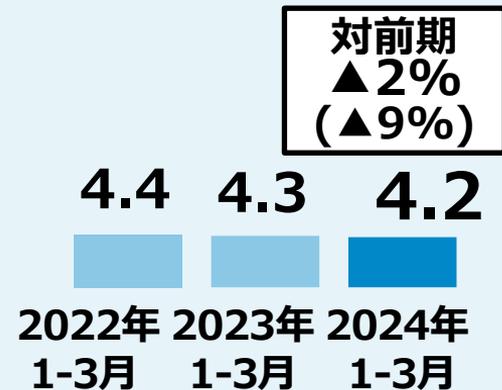
医薬品



熱さまシート



その他



国内外ともに、一部の 카테고리・エリアで影響が見られている

※数字は全て出荷ベース

国内（通販除く）

- ・前年比92%（ヘルスケア83%、日用品104%）
- ・特に食品カテゴリーが影響を受けている
- ・インバウンドでもサプリメント等で一部影響が見られている

通販

- ・前年比66%

国際

- ・前年比128%（Focus社を除くと111%）
- ・一部地域（中国大陸など）で広告を中止していることもあり、影響が見られている

現時点では紅麴関連製品回収等に伴う影響について見極めることが非常に困難な状況であり、2024年12月期の通期連結業績予想を一旦取り下げ。今後、業績予想の算定が可能となった段階で改めて公表いたします。

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A) (2024年2月9日発表)	185,600	26,300	27,500	20,500	275.76
今回修正予想 (B)	未定	未定	未定	未定	未定
増減額 (B - A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2023年12月期)	173,455	25,780	27,330	20,338	268.16

あったら
いいな
をカタチにする



<注意事項>

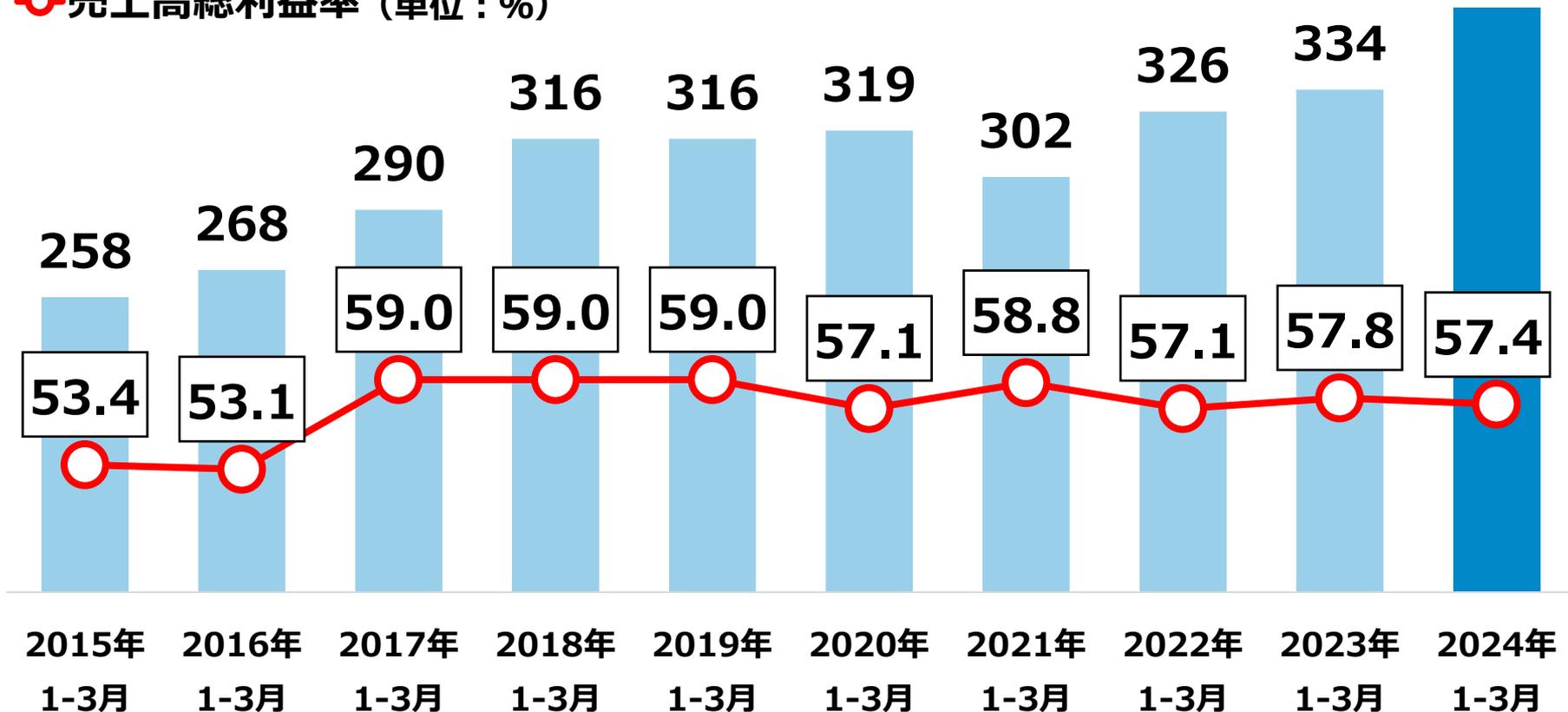
この資料に記載されている当社の現在の業績、計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。従って、実際の業績は様々な要因の変化により記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

参考情報

連結売上高と売上高総利益率の推移

■売上高 (単位：億円)

○売上高総利益率 (単位：%)

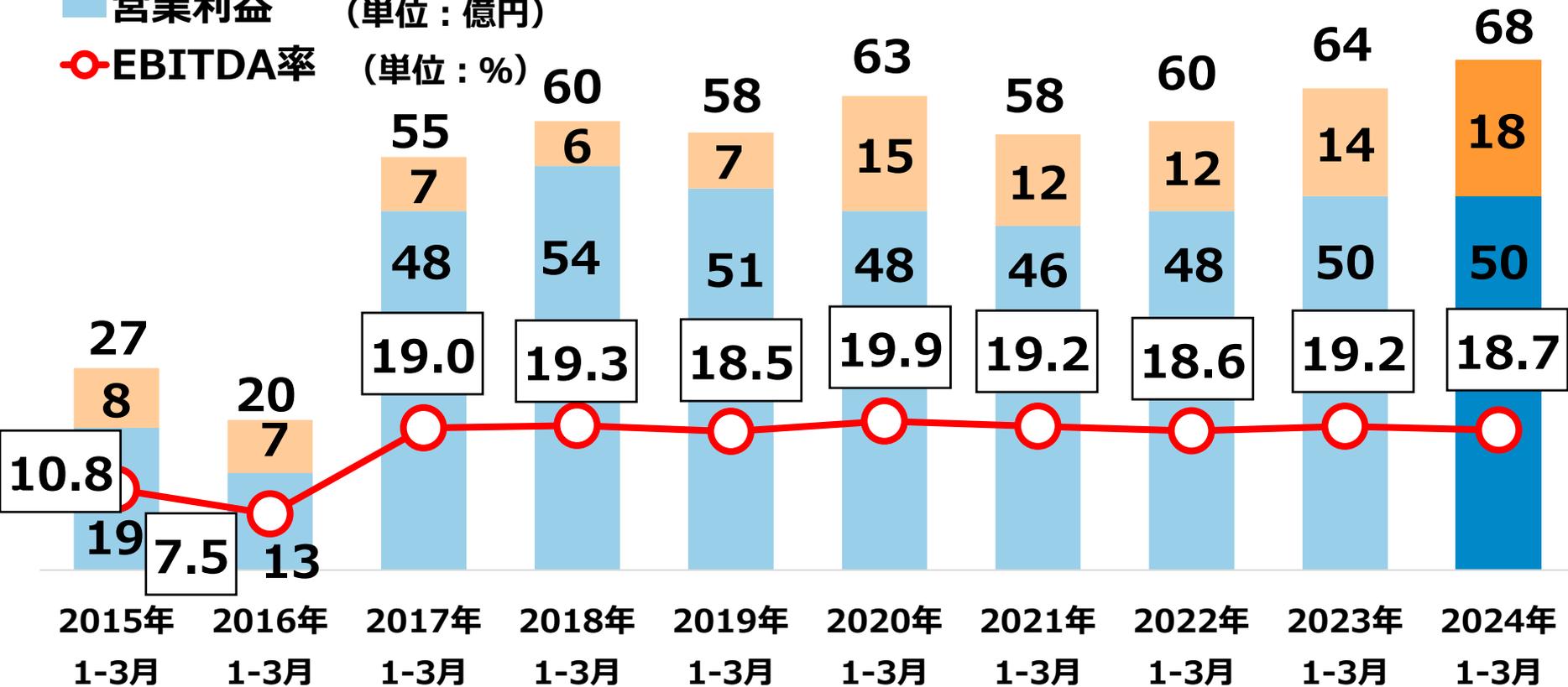


EBITDAの推移

償却費 (単位：億円)

営業利益 (単位：億円)

EBITDA率 (単位：%)



(単位：億円)	2023年 1-3月	2024年 1-3月	
	金額	金額	対前期
売上高	334	364	+9.0%
売上総利益	193	209	+8.4%
率	57.8%	57.4%	-
営業利益	50	50	▲0.6%
率	15.1%	13.8%	-
経常利益	51	54	+5.7%
率	15.4%	15.0%	-
当期純利益	36	9	▲72.9%
率	10.8%	2.7%	-

(単位：億円)	2023年 1-3月	2024年 1-3月	
	金額	金額	対前期
広告宣伝費	32	32	+1.8%
率	9.6%	9.0%	-
販売促進費	7	9	+22.2%
率	2.2%	2.5%	

(単位：億円)	2023年 3月末	2023年 6月末	2023年 9月末	2023年 12月末	2024年 3月末
流動資産	1,616	1,686	1,713	1,583	1,384
現金及び預金	929	911	871	715	624
受取手形及び売掛金	344	379	445	530	376
有価証券	83	83	83	83	83
たな卸資産	231	278	284	220	269
固定資産	912	979	996	1,091	1,228
有形固定資産	410	431	451	476	603
無形固定資産	131	134	133	216	219
投資その他の資産	370	413	410	398	405
資産合計	2,529	2,665	2,709	2,674	2,612

(単位：億円)	2023年 3月末	2023年 6月末	2023年 9月末	2023年 12月末	2024年 3月末
流動負債	481	489	475	561	509
支払手形及び買掛金	104	105	102	87	94
短期借入金	0	0	0	0	0
未払金	168	184	184	250	177
固定負債	59	90	88	65	53
純資産合計	1,988	2,085	2,146	2,048	2,049
資本剰余金	5	5	5	5	5
利益剰余金	1,931	1,973	2,017	2,056	2,023
自己株式	▲136	▲136	▲136	▲247	▲247
負債純資産合計	2,529	2,665	2,709	2,674	2,612

(単位：円)	2023年 1-3月	2024年 1-3月	2024年 1-12月 予測
米ドル	132.3	148.6	135.0
中国元	19.3	20.6	19.4

セグメント別業績（国内事業）①

(単位：億円)	2023年 1-3月	2024年 1-3月	
	金額	金額	対前期
売上高	249	261	+4.9%
売上総利益	143	147	+2.9%
率	57.7%	56.6%	—
営業利益	36	38	+6.8%
率	14.5%	14.7%	—

広告宣伝費	28	25	▲10.6%
率	11.5%	9.8%	—
販売促進費	3	4	+12.3%
率	1.6%	1.7%	—

セグメント別業績（国内事業）②

(単位：億円)	2023年 1-3月	2024年 1-3月	
	金額	金額	対前期
ヘルスケア	140	155	+10.6%
医薬品	74	82	+10.1%
食品	18	17	▲5.2%
オーラルケア	33	39	+18.4%
スキンケア	13	15	+15.9%
日用品	81	85	+5.4%
衛生雑貨品	22	24	+6.2%
芳香消臭剤	49	52	+6.8%
家庭用品	9	8	▲4.0%
カイロ	8	4	▲49.6%
通販	19	16	▲16.0%

(単位：億円)	2023年 1-3月	2024年 1-3月	
	金額	金額	対前期
売上高	83	101	+21.4%
売上総利益	48	59	+24.6%
率	57.3%	58.8%	—
営業利益	13	10	▲21.5%
率	16.1%	10.4%	—

広告宣伝費	3	7	+98.1%
率	4.3%	7.1%	—
販売促進費	3	4	+33.7%
率	4.1%	4.5%	—

セグメント別業績（国際事業）②

(単位：億円)	2023年	2024年		
	1-3月	1-3月		
	金額	金額	対前期	対前期 (為替除き)
米国	26.7	38.7	+44.6%	+28.8%
中国	27.6	28.0	+1.5%	▲5.7%
中国大陸	21.2	21.0	▲1.3%	▲7.0%
(店頭)	13.7	13.3	▲3.1%	-
(大陸EC)	3.7	6.2	+66.3%	-
(越境EC)	3.7	1.4	▲62.2%	-
(EC比率)	35.2%	36.5%	-	-
香港地域	6.3	7	+11.0%	▲1.4%
東南アジア	22.4	27.0	+20.7%	+12.3%
シンガポール	1.4	1.9	+32.1%	+16.7%
マレーシア	6.2	8.6	+38.5%	+33.0%
タイ	5.5	7.0	+26.8%	+18.9%
インドネシア	3.5	2.7	▲23.4%	▲31.5%
フィリピン	1.4	3.5	+141.0%	+118.4%
台湾地域	4.1	3.2	▲22.3%	▲28.4%
その他	7.0	8.0	+13.7%	▲0.7%